

〔第160回明専塾（牧野フライス製作所）〕
明専塾に参加して

情機H14 中安 和正



1、はじめに

牧野フライス製作所は工作機械を製造・販売している会社ですが、作っている製品も含めて世間一般にはそれほど知られた会社ではありません。しかし、皆さんが手にしたり、見たり、乗ったりする工業製品を作るために、多くの様々なメーカーで当社の工作機械が活躍しています。優れた工業製品を作るためには、他社が簡単には真似できない独自の製造技術が必要です。当社の強みは、お客様と一緒にあって、製造現場の課題を解決し、新しい技術に変える力です。

第160回明専塾では、はじめに皆さんがよく知っている高度な工業製品

を例に、それを作るためには工作機械でどのような技術や工夫を凝らしているのかを伝えました。また、ものづくりの自動化が拡大し、より複雑な製造工程を対象とするためには、九州工業大学が得意とする情報工学の重要度が益々高まっていること。

最後に当社は工作機械だけではなく「CAM」と呼ばれる、3次元モデルから加工プログラムを生成するソフトや、AIによって自律的に製造支援する自動化システムも開発しており、開発拠点は世界中にあります。様々な分野、様々な国のエンジニアと共に進める開発業務の魅力を伝えました。

2、明専塾に参加して

耳にする機会の少ない当社に興味を持って集まっていただけなのか不安でしたが、実際には多くの学生の

皆さんに参加していただき、様々な工業分野の製造現場に直結している工作機械や生産システムをつくる魅力、おもしろさを少しでも知っていただけたらと、プレゼンにも力が入りました。

懇親会では皆さんからの率直で的確な疑問、質問から会話を深めることができ、同窓で集うことのできる「明専塾」のよさを実感しました。

工場見学やリクルート支援で他の大学の学生さんと会話をすることもありですが、ここでは少なからず「うちに入ってほしい」というバイアスが発生します。

「明専塾」では、もちろん当社に興味を持ってもらえればうれしいですが、それよりも九州工大生一人ひとりが生涯にわたって輝ける職業に就けるよう、その検討の一助になればと思いつながらプレゼン、ディスカッションさせていただきました。私達も十数年ぶりに九州工大生に戻ることができ、楽しい時間を過ごすことができました。

3、おわりに（在学生へ一言）

今回の明専塾では、技術的な話題

やちょっととした当社の紹介と共に、皆さんに就職活動の中で特に見落として欲しくないことを、OBとして率直にお話しさせていただきました。「仕事のやりがい」「幸せの価値観」「働く意味」「職場の人間関係の心地良さ」は働き続ける上で大切な項目であり、人それぞれ求めるものも感じ方も異なります。また同じ人であってもライフステージによって変化します。就職活動において、現時点での自分自身のやりたいことだけでなく、10年後、20年後の変化した自分を想像して、その企業とマッチするのかわという視点を持つことも重要だと思います。

しかし、将来をイメージすることや、やりがいや価値観などを数字で表現することは、なかなか難しいことです。ネットにある情報も鵜呑みにはできません。そのときこそ、「明専塾」や研究室等を活用して九州工大OBを訪ねるのはいかがでしょうか。顔が見える同窓の先輩に話を聞き、納得できるまで議論すれば、価値観が広がり将来の支えになることと思います。